

デポーがコミュニティの拠点に

4/19 松葉町感謝祭

新生W. Co樹として、松葉町デポーのお披露目を兼ねて「松葉町感謝祭」が開催されました。JFSA(※)から白を借りて、つきたてのお餅120人分が来所者に振る舞われました。



お餅は美味しい!

他にも、日東珈琲やニューオオクボ、平牧工房の消費材をアピールする企画など盛りだくさんで、W. Co樹の意気込みを感じました。

あいにく肌寒い日だったため人出はあまり多くはありませんでしたが、あい葱菜、菜の花、紙ふうせんの葱菜を出品し、JFSAの古着、ういず、紙ふうせんの手作品も並び、賑やかに開催しました。



お葱菜たくさん作りました

この感謝祭は生活クラブ虹の街と組合員、デポーコア、そしてW. Coでアイデアを持ち寄り、それぞれの役割分担で2カ月かけて企画を練り上げ、デポーのワーコレ化が生み出した連携のひとつの成果を実感しました。これからもデポーがコミュニティの拠点・生活クラブ運動の拠点となるようにみんなで力を尽くしていきたいと思ひます。

北田恵子 NPO W. Coういず

※NPO日本ファイバースリサイクル連帯協議会の略称。古着を通してパキスタンのスラム地域にある無料の教育施設の支援を行っている

佐倉で地域交流

4/13 下総エリアのフリーマーケット

八重桜が満開の4月13日、生活クラブ虹の街センター佐倉前で、下総エリアのW. Co合同フリーマーケットを開催しました。ハーブ、回転木馬、風車、結の、地域交流とW. Coのアピールを目的にした初めての試みです。地域の皆さんに感謝をこめて、豚汁、チョコレートケーキなどを提供し生活クラブの消費材を味わっていただき、葱菜、弁当、着物リメイク品、リユース食器でコーヒーも販売しました。関連団体にも声をかけ、ユニバーサル農業(※1)を実践している吉竹農園の野菜、とんぼ舎(※2)のクッキー、愛光(※3)の花の苗なども並べて、こじんまりですが楽しく近隣の方と交流し、W. Coの存在をアピールすることができました。



6団体が集まり、ミニマルシェ

- ※1 農に関わる人々や関わりたいと考えている人をつなぎ、農地を守り育て、農を通じて出会い、交流し、はたらきあう(「共に守り、共に拓く」)新しい農業
- ※2 社会福祉法人 生活クラブ風の村の18歳以上の障がい者を対象とした日中活動支援事業所
- ※3 社会福祉法人 愛光。今回の参加は視覚障害者の社会自立を総合的に支援する「視覚障害者総合支援センター千葉」

中村早和子 NPO W. Co風車

イベント情報

- いなげビレッジ虹と風2周年 7月22日(月)~27日(土) デポー園生2周年ウィーク まぐる解体・生産者交流会 W. Co京業エリア 虹と風のマルシェ出店
- 映画「ワーカーズ」上映 7月27日(土) 柏市民文化会館・小ホール ①10:00 ②14:30 (上映時間94分) 鑑賞券1000円 問合せ W. Co千葉県連合会
- 加藤登紀子「命結(ぬちゆい)トーク&ライブ」8月10日(土) 16:00開演 京業銀行文化プラザ・音楽ホール 一般5000円 このコンサートの収益は「生活クラブ風の村 はぐくみの杜君津」に暮らす子どもたちの生活支援・自立支援のために使います 主催 はぐくみの社を支える会 問合せ 0439-32-3300 (川端)



編集後記

◆『機関紙』というものについて改めて考えた。読み手の中にひとつでも残すものがあれば、役割を上手く果たすことができた、と言えるのではないだろうか。実行した事実や現象を正確に伝えることは当然のことではあるが、そのことだけが役割ではないはずだ。人が関わるのであればそこに必ず思いがあり、喜びや満足感、または後悔や疑問といった感情が錯綜する。そのひとつかけらでも読む人に残すことができたなら…。これからの難しい宿題。(風間由加)
◆今回、座談会と100号までの記事の中から2つピックアップするという仕事を担当しました。初めは(全部など読めないわよ)と負担に思っていました。読んでいくうちにどんどん引き込まれて、社会科の歴史を学んでいるようなわくわく感がありました。役得でした。(橋本裕子)

お詫びと訂正

わくわく~くちば99号「コミュニティへの貢献とは？」の文面で間違いがありました。お詫びして訂正させていただきます。

イアン・マクファーソン博士は1989年~93年にはカナダ協同組合連合会初代会長をされ、その後ヴィクトリア大学内にブリティッシュ・コロニア協同組合研究所を立ち上げ、現在はその所長もされています。

「レイドロー博士が1995年に「21世紀において協同組合は自治と自立、コミュニティへの貢献こそ使命とするべきである」と宣言された」⇒1995年イギリスのマンチェスターで開かれた国際協同組合連盟(ICA)100周年記念大会で、「21世紀において協同組合は自治と自立、コミュニティへの貢献こそ使命とするべきである」との宣言を起草した方もあります。

特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブ千葉県連合会機関紙『わくわく~くちば』第100号
〒277-0872 千葉県柏市十余二380-97生活クラブ虹の街センター柏内 TEL/FAX 04-7134-0072
Eメール wcochiba@s2.dion.ne.jp Webサイト http://www.ac.auone-net.jp/~r11/wco.html
発行責任/北田恵子 編集責任/広報部委員会 制作/くれよん 発行日/2013年7月18日(年3回発行)



わくわく~くちば work

NPOワーカーズコレクティブ千葉県連合会

No. 100
2013. 7

ワーカーズ・コレクティブ(W.Co)とは…

同じ目的を持った仲間が作り出す、地域に有用な事業/出資・労働・経営を全員で担う/働くことを通し、社会的・経済的・精神的自立をめざす

100号記念特集号

ワーカーズの『今』を伝えて100号!

今ご覧の機関紙は、1999年にNPO法人格を取得したW. Co千葉県連合会が、「ワーコレちば1号」として発行し、通算100号となりました。W. Coとして働く人たちが組織の情報だけではなく思いも載せて、それらを縦横に繋ぐ役割を果たしてきました。100回の発行紙面には、多くのワーカーズが登場し、多くのドラマを多

くのワーカーズで共有してきました。また紙面作りに関わったワーカーズが伝えたかったことに思いを馳せ、今回の記念号では「わくわく~くちば」が果たしてきた役割を改めて見返しながら、2012年度から変わった(運営委員会体制から理事会体制)W. Co千葉県連合会活動についてお伝えします。

100号に寄せて

生活クラブ虹の街前理事長 新保ちい子

「わくわく~くちば」100号発行おめでとうございます!

昨年は連合会設立20周年を迎え、大勢のワーカーズ・コレクティブのみなさんと喜びを共有しました。そして、「わくわく~くちば」が100号を迎え、活動の歴史を改めて確認しながら、これからのワーカーズ・コレクティブのあり方を考える大切な機会になってほしいと思います。



人口の減少、貧困と格差、孤立、高齢化、経済の停滞、非正規雇用など、解決すべき社会の課題に対し、セーフティーネットの張替えと同時に市民発の地域事業や非常利活動の展開が必要とされています。生き方の表現・地域社会をつくる必要な生活機能・多様な世代の参加・ワーキングコミュニティなどの視点を重視しつつ希望が持てる労働を共に育てていきたいと思ひます。元気なワーカーズの皆さんの活動を「わくわく~くちば」を通して発信し、ワーカーズ・コレクティブのはたらき方の価値を、地域に広げてください。

目次

特集1 ワーカーズの今を伝えて100号!	
100号に寄せて	1P
座談会「わくわく~くちば100号に想う」	2~3P
「一つの時代を共有した仲間たちに会える楽しみ」	
特集2 W. Co千葉県連合会って何してるの?	4~5P
第14回通常総会報告	6P
W. Coの総力が集結!エンディング相談会	7P
エリア活動報告 イベント情報 編集後記	8P

『わくわく~く』の文字デザインを募集します

100号を記念してタイトル文字デザインをリニューアルします。あなたのデザインした文字が毎回登場するチャンス! ぜひご応募ください。

【応募要領】

以下の文字をデザインしてください。
「わくわく~く work ちば」
※イメージを変えないで手直しする場合があります。
締切 8月20日(火)
送り先 W. Co千葉県連合会まで
PCの場合 wcochiba@s2.dion.ne.jp
郵送の場合 〒277-0872 千葉県柏市十余二380-97
生活クラブ虹の街センター柏内
※応募多数の場合は厳選なる審査をもって採用します。